

とんぐい村の こみ・すく通信

令和3年3月9日発行 第31号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第3回更別中央中・上更別小学校運営協議会が開催される

第3回学校運営協議会が、更別中央中で2月8日に、上更別小で18日に開催されました。

2校からは、2学期以降、コロナ禍の中でも感染症対策をしながら、様々な教育活動を工夫して進めてきた様子を教えていただきました。

【更別中央中学校では】 話し合いから

- ・地域住民を含め、村内で出会った人には積極的にあいさつをしてほしいという地域の声があるため、校外であいさつができるように啓発や指導をお願いしたい。
- ・児童生徒のカバンが重い。全国的にも重いカバンが取りざたされており、登下校が大変である。重たいカバンを自転車の後ろのかごに入れて通学しているが、後輪の減りが早く徒歩通学の生徒はさらに大変であると感じる。

- ・4月、5月の臨時休校で、授業時間や進度の遅れはないか？

⇒時数は2月末でほとんどの教科が規定の時数を実施予定。学習内容の遅れもない。



皆様からの貴重な意見を！

授業参観を含む情報交流

- ・1年音楽を参観し、タブレットPCで未来の授業が見える。今後、どうやって使って

いくのか検討が必要である。

- ・今後、デジタル教科書の導入により、カバンの重さについても問題は解決の一助となるのではないか。
 - ・デジタル教科書により空間認知能力や目への健康被害がないか心配である。
 - ・将来、休校になった場合、授業をどうするのか。ネット環境をどうするのか。
- ⇒学びの保障を見据え、タブレットPCを家庭へ持ち帰って使用するために関係機関と連携して将来的にネット環境の構築を図っていきたい。

【上更別小学校では】 学校評価について

- ・「読書の習慣」に課題があるが、移動図書館ではたくさんの児童が楽しみにして、本を借りて読んでいる。

来年度の学校体制について

- ・教職員数の減に伴い、教頭が担任をもつことになる。



タブレットは、このように使っています

話し合いから

①タブレットの活用に関わって

- ・どのような使い方をする？持ち帰りは？
- ⇒ノートなどのように活用したり、体育で自分の動きを動画撮影したり、今後ドリルでの活用も予定している。端末を持ち帰っての学習も将来は視野に入れている。
 - ・タブレットもいいが、書くことで覚えたり、文字も上手にかけたりできるので、ノートに文字を書く活動も大切にしてほしい。

②いじめの実態調査について

- ・いじめとしてあがっているものについては、家庭に連絡しているのか。
- ⇒現在は「いじめ」の定義が変わり、数値としては増えている。状況により子ども同士の話や教師の指導のみで解決できるものについては、家庭に連絡していない。